

元町だより



令和4年3月11日
京都市立元町小学校
校長 田嶋 真由美

令和3年度 元町小学校 第2回学校評価のご報告

花の小さな蕾に春の訪れを感じるこの頃です。日頃は本校の教育活動にご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。2月に実施した「第2回学校評価アンケート(保護者)」「元町っ子アンケート(児童)」「教職員自己評価」の結果を総合的に分析して、今後よりいっそう推進すべき点や改善点について考察しました。限られた紙面ではありますが、以下にご報告させていただきます。

元町小学校の教育目標

夢と笑顔があふれる学校

～共に学びあい 自らの手で 未来を切り拓く子どもの育成～

を目指す子ども像

わかる子ども

楽しみ大切にしあう子ども

元気な子ども

概要

本校では、「夢と笑顔があふれる学校～共に学びあい 自らの手で 未来を切り拓く子どもの育成～」という学校教育目標を受け、今年度は「元町からの発信 ーあなたへ、地域へ、そして未来へー ～生活科や総合的な学習等を通して、自ら課題をもち、探求し、発信する～」という研究主題で教育活動を進めてきました。「発信力」「論理的思考力」「情報の整理・分析」というキーワードを掲げ、子どもたちの「探求する力」を一層伸ばすことを目指に「様々な体験活動から自分で課題をもち、自分の言葉などで進んで発信できる子ども」を目指して教育活動を進めてまいりました。

学校評価においては、学校教育目標の目指す子ども像に照らし合わせて、「わかる子ども」「楽しみ大切にしあう子ども」「元気な子ども」の目標に合うように評価項目を設定しました。また、学校教育目標の具現化を目指すために、教職員はもちろん、子どもや保護者の皆様についても自己評価をする形式をとっています。例えば、保護者アンケートでは、「～するようにお子たちにお声かけいただいていますか」という表記にさせていただいている。また、今年度からオンラインで回答する方法をとっています。

児童の「元町っ子アンケート」については、ほとんどの項目で80%以上の児童が「できている」と答えていますが、第1回の結果より低くなった項目も多くあります。詳しくは裏面にて報告させていただいています。

保護者の「学校評価アンケート」は回収率が90%でした。第1回よりオンラインでの回答にご協力いただいた方が増えました。第1回に引き続き、全体を通して概ね実現度が高いという評価をいただきました。これは、保護者の皆様が教育に対する意識を高く持たれ、本校の教育方針にご理解やご協力をいただき、ご家庭でも子どもたちへの声かけや励ましをいただいているからと考えています。今後も学校と保護者が学校教育目標に向かって、協力し合って子どもたちの心身ともに健やかな成長を目指していきたいと思います。

教職員自己評価については、第1回の結果に比べて実現度が低くなった項目がありました。コロナ禍での課題はありますが、来年度に向けて試行錯誤を重ねながら、全教職員が同じ姿勢で学校教育目標の具現化に取り組んでいきたいと思います。

今回の学校評価の結果やいただいたご意見などについては学校運営協議会でも取り上げて話し合いました。今後、子どもたちに指導をしたり、取組内容の検討や見直しをしたりして元町小学校の教育活動に活かしていきたいと思います。お忙しい中、学校評価にご協力いただきありがとうございました。

○学校評価(児童・保護者・教職員)の結果

△3ポイント以上アップ ▼3ポイント以上ダウン

		子どもと保護者の実現度は 『よくできている』・『だいたいできている』 を合わせた数値	子ども 実現度	保護者 実現度	教職員 実現度
学校生活	1	学校で楽しく過ごす	88%	98%	90%
	2	進んであいさつをする	△98	▼92	▼80
	3	「てまきでははは」を心がける	△94	△86	100
わかる子ども	1	授業中に学習のルールを守る	96	92	100
	2	授業や帯時間の学習に集中して取り組む	96	▼82	100
	3	家で宿題や自主学習などに進んで取り組む	88	94	100
楽しみ大切に しあう子ども	1	誰とでも仲良くする	△97	△98	100
	2	相手の思いや考えをよく聞いて大切にする	▼97	96	100
	3	相手の気持ちを考えて行動する	98	97	100
元気な子ども	1	自分の体や心を大切にする	95	99	90
	2	生活リズムや歯磨きなど健康に気をつける	95	97	▼90
	3	進んで外遊びや運動をする	82	74	▼70
学校独自の取組 (子ども)	1	図や絵や思考ツールを使って自分の考えを整理したりまとめたりする	△88		
	2	進んで自分の考えを文に書いたり、発表したりする	78		
	3	コンピューターやタブレットを使って進んで学習する	96		
学校独自の取組 (保護者)	1	子どもから学校での出来事などの話を聞く		△98	
	2	子どもの宿題や学習ノート、学校からのお便りなどを見る		92	
	3	子どもが宿題などで分からぬ時には、辞書や本、コンピューターなどを使って調べるように声かけする		△91	

主な成果と課題

<学校生活>

第1回に比べると2項目が児童の実現度が3ポイント以上高くなっています。コロナ禍の中、マスクをしているとあいさつをしているのかしていないのわかりにくいことがあります。飛沫感染のことを考えると大きな声であいさつしましょうと言えない状況ですが、相手に伝わるように目を合わせたり、軽くお辞儀をしたりすることもいい方法だと思います。

「てまきでははは」は、子どもたちはもちろん、保護者の皆様にも浸透してきました。今後も感染症拡大防止が必要不可欠な状況が続くかと思われます。「てまきでははは」が日常の習慣となっていくことが大切だと思います。

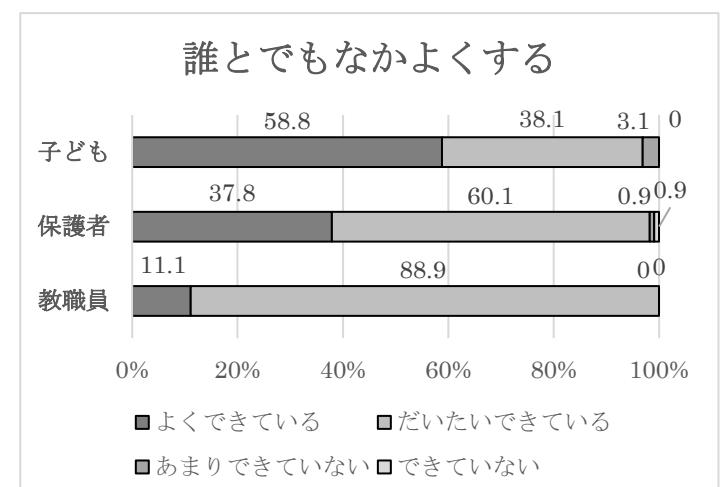
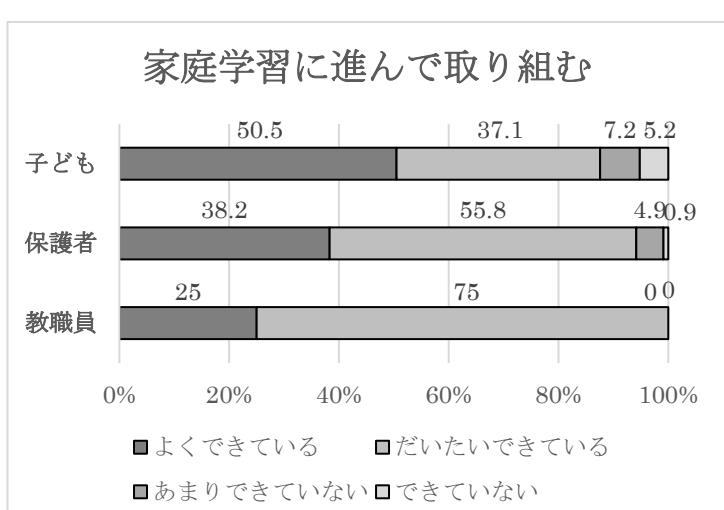
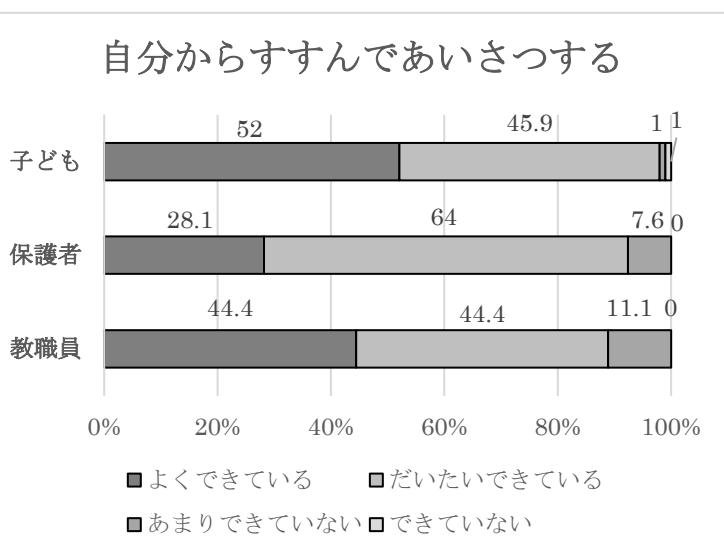
<わかる子ども>

児童は3項目とも高い実現度となっています。3学期になってから、コロナの感染拡大が広がり、欠席を余儀なくされる児童が増えたり、学級閉鎖をしたりしたクラスも複数ありました。休み中も、子どもたちの学びを止めないために、GIGA端末(タブレット)を持ち帰り、課題を配信するようにしてきました。学年の発達段階によってできることに差はあります、今後も家庭学習にタブレットを活用していくと考えています。

本校の研究目標である『発信する力』をつけるために、今後もICT機器を活用しながら、子どもたちの学習を支援できるようにしていきたいと思います。

<楽しみ大切にしあう子ども>

児童、保護者とも実現度が95%以上でした。第1回と比べると「誰とでも仲良くする」の項目が高くなりました。ただ「できていない」と答えた子どももいます。今年もたてわり活動があまり活動できませんでしたが、秋には全校遠足はたてわりグループで行くことができました。小規模校である本校のよさを活かして、学年を超えた交流はこれからも進めていきたいと思います。また、学級担任だけでなく、全教職員で一人一人の子どもに寄り添い、人権を大切にする心を育んでいきたいと思います。



<元気な子ども>

第1回と比べると「生活リズムや歯磨きなど健康に気をつける」という項目の実現度が少し高くなりました。毎月の保健の日には保健より「なごみ日和」を発行して保健学習をしています。生活リズム調べや歯ツピ一週間などの取組においては、ご家庭でもご協力いただきありがとうございました。

春に実施した新体力テストの結果は全国的に体力が低下していることが発表されています。コロナ禍で体育の種目や休み時間のボール遊びなど制約が多い中、仕方ないとも考えられますが、免疫力を高めるためにも体力づくりを学校として取り組んでいく必要を感じています。そのためには、望ましい生活リズムを確立できるように、引き続きご支援よろしくお願ひします。

<学校独自の取組>

第1回と比べると「図や絵や思考ツールを使って自分の考えを整理したりまとめたりする」という児童の実現度は88%で5ポイント高きました。子どもたちは数年前にPTAにご協力いただいて作製した思考ツール(自分の考えをわかりやすくする図や表)の下敷きを持っています。各学年、様々な教科で絵や図や思考ツールを使って学習をしています。GIGA端末のタブレットで学習する時にも、子どもたちは思考ツールを自由に取り出して使っています。タブレットを文房具の一つとして、子どもたちが自由自在に使えるようになってきています。

「進んで自分の考えを文に書いたり、発表したりする」という児童の実現度は78%で第1回の結果と同じでした。本校では「発信力」を高めるための取組を進めています。グループ交流がなかなかできにくいくらいではありますが、自分の考えを言葉で発信することも大事にしていきたいです。

自由記述より

○タブレットの導入で視力低下が心配。

⇒子どもたちはテレビやYouTube、そして学習にもタブレットを使うことが多くなり、画面を見る時間が増大しています。子どもの視力低下については問題視されています。各学年、タブレットを使っての家庭学習にも取り組んでいますが、1時間したら目を休めることが大事だと言われています。ご家庭でもテレビやタブレットの使用についてはルールを決めてください。

○学級閉鎖で授業時間確保は仕方ないが、6時間目や7時間目の回復は子どもの負担が心配。

⇒学級閉鎖による授業時数回復のため6時間目を増やしたり7時間目をしたりしている学級があります。なるべく子どもの負担を軽減するよう、校時の変更は午後からにしています。子どもたちのことをご心配いただきありがとうございます。子どもの学習保障も大事ですが、子どもの心身の健康を大事に考え、午後からの学習内容をできる限り配慮していきます。

○コロナ禍の中、安心・安全、感染対策等、ご配慮いただきありがとうございます。

⇒学級閉鎖や行事の変更など、保護者の皆様にはいろいろな面でご理解いただきありがとうございます。このような温かい言葉をいただくと教職員一同、励みになります。元町の子どもたちのためにできることをできる限りしていく所存です。それでも至らないことがあると思います。ご意見は真摯に受け止めますのでご遠慮なくご連絡ください。

学校運営協議会にて

今回の学校評価アンケートの結果については、3月1日(火)の学校運営協議会にて報告させていただきました。元町の子どもの目指す姿や、今後の具体的な取組についてワークショップをして話し合いました。理事の皆様からは貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。来年度に向けて職員会議で検討していきます。今後も子どもたちを見守り、元町教育にお力添えをいただければ幸いです。